



あか たんじょう で ようすい ようすい
赤ちゃんの誕生のとき出る羊水は、どうして羊水っていうの

あか まも ようすい
赤ちゃんを守る羊水

にんげん あか かあ なか そだ し あか
 人間の赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で育つことは知っていますね。赤ちゃんがで
 きると、おなかの中に羊水がつくれ、赤ちゃん全体を包みこみ守る役目をするのです。

ようすい つつ よう
羊水を包むまくを「羊まく」という

ようすい つつ よう
 羊水を包むまくがあり、このまくを羊まくとよんでいます。この羊まくはギリシア語で
 アムニオンといわれていますが、もともと、ギリシア語で「いけにえの小羊」という意味
 のアムノスからできた言葉です。

むかし こひつじ かみ こひつじ かわ
 昔、ギリシアで、子羊を神にささげていましたが、その子羊をやわらかい皮のふくろに
 入れました。

あか つつ いみ なか はい
 このことが、きっと、赤ちゃんを包むやわらかなまくという意味になり、その中に入っ
 ている水ということで、羊水とよばれるようになったと思われます。（監修 保志 宏）

● 赤ちゃんと羊水

